

都立光が丘公園



全長約200mのイチョウ並木があり、黄金色の道となる人気スポットです。

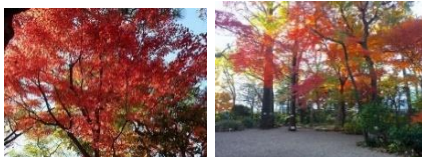
都立石神井公園



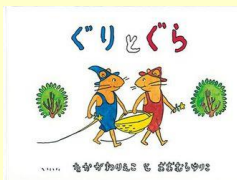
静かな三宝寺池と、ボート遊びなどで賑やかな石神井池の水面に映る紅葉は、憩いのスポットとしておすすめです。

区立牧野記念庭園

日本を代表する植物学者・牧野富太郎博士の邸宅跡地として公開されています。四季折々の植物が美しく、珍しい種類の植物も多くあります。秋はドウダンツツジやイロハモミジの紅葉が綺麗です。



中川李枝子さんの本紹介



「ぐりとぐら」
福音館書店
子どもたちが大好きなぐりとぐら。シリーズがたくさんあります。

「そらいろのたね」
福音館書店
空色の種を植えると空色の家が生えてきて...



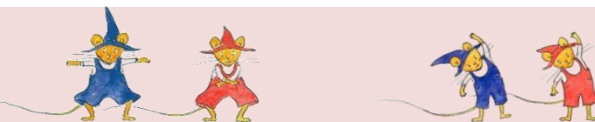
「ももいろのきりん」
福音館書店
大きな桃色の紙をもらって、のりとハサミとクレヨンで大きなキリンを作りはじめました。

「くまさん くまさん」
福音館書店
リズムにのって、くまさんがお掃除したり、お料理したり、ついつい口ずさみたくくなります。



「たからさがし」
福音館書店
ゆうじとうさぎのギックが河原で同時に見つけた棒。棒の持ち主を決めようとしています。

☆他にもたくさんさんの作品があります。



子どもが「どんとぶつかってきても、よろめくよつではだめ」
子育て真っ最中のお母さんが、私にはうらやましくてたまりません。なんて幸せな人だろうと思います。子育てに追われておしやれもできない、社会から取り残されているなどどほやっています。そんなことはありません。あなたはまぶしいほど輝いています。世の中すべてのことが我が子の将来にかかっているのですから、今の社会の先端に立っているのはお母さんたちです。窓際族の私には本当にうらやましい限りです。ただ忙しさのせいで、自分の体を後回しにしているお母さんがけっこういます。健康診断はちゃんと受けてほしい。子どものために犠牲にするという時代ではありません。何よりも自分自身をふくめた家族を大事にしてほしいです。

「子どもはみんな問題児。」
中川李枝子・著
新潮社



豊玉文庫にもあります！貸し出ししています。

今後のお楽しみプログラム

- 11月14日(木) 栄養士による離乳食講習会
- 12月18日(水) 季節の飾りづくり
- 1月17日(金) 発達に合った絵本・おもちゃ選び
- 2月14日(金) 手作りおもちゃを作ろう *保育あり
- 3月4日(火) 園長子育て講話とお楽しみ *保育あり

離乳食講習会は定員いっぱいになりました。キャンセル待ちを受け付けています。

☆お楽しみプログラムは10:00~11:30 予約はいりません。
☆お楽しみプログラムの日はその月の誕生会と「ふれあいランチ」もあります。
☆ふれあいランチは予約が必要です。ご希望の方は事前にご予約を！

めだかくらぶは平日毎日10:00~11:30 行っています！
ぜひ気軽にあそびにきてください。

めだかくらぶ



秋を満喫していますか？

文責 端 晶子

出かけるには良い気候になりました。秋から冬に移りゆく自然を眺めたり、紅葉をゆっくり眺めるのはいかがですか？そこで近くのお勧め紅葉スポットをいくつかお知らせします。綺麗な葉っぱやどんぐり、松ぼっくりなどを採って楽しんで、秋の自然と心地よさをぜひ堪能してください。場所にもよりますが、紅葉の見頃は11月から12月上旬です。

ちよこっぺコラム

先月、児童文学作家の中川李枝子さんが亡くなりました。お名前は知らない方でも作品を知らない方はいないのではないのでしょうか。「ぐりとぐら」「そらいろのたね」「ぐりとぐら」の「さんぽ」の歌も中川李枝子さんの作詞です。中川李枝子さんは私たち保育士の大先輩で、保育士として働きながら絵本の創作を続けた経歴をお持ちです。「子どもってそうそう！」と思う場面や子どもたちのことを本当に知ってらっしゃるなあと思う場面が作品から感じられます。中川李枝子さんの著書より子育て中のお母さんたちに向けた文章を追悼の気持ちを含めてここで紹介します。